

いやさか通信

(※「いやさか」とは、「栄える」という意味を持つ「弥栄」を平仮名で表記したものです)

弥栄町の人口	年齢	R3. 9末(前月比)
	0歳～14歳	472人(-7)
	15歳～64歳	2,339人(+1)
	65歳～	1,879人(-1)
	合計	4,690人(-7)



大きなお芋がとれました！



サツマイモを掘り出す子ども達

サツマイモ掘り体験

10月6日、弥栄こども園の子ども達がサツマイモ掘り体験を楽しみました。

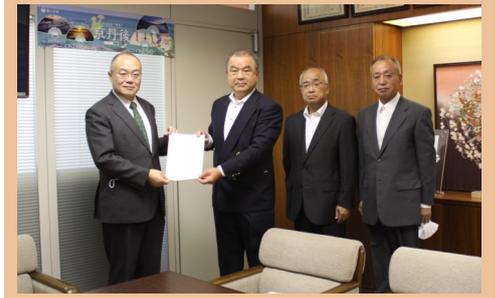
体験では、子ども達は手を泥まみれにしながらかつマイモを探し、大きなサツマイモを掘り当てると「大きい」などと歓声を上げて喜んでいました。

子ども達は「いっぱいとれてよかった」「大きいのがとれて楽しかった」と笑顔でいっぱいでした。

地域の実情に即したまちづくりを

10月19日、弥栄町区長連絡協議会では、弥栄町の現状と課題を市と共有し、地域の意見や方向性が市の施策に効果的に結びつくことを願い、京丹後市長に「まちづくりに関する提言書」を提出しました。

市長と区長会三役さんとの懇談では、市が管理する河川の整備や有害鳥獣対策、空き家対策などについて意見交換が行われました。



左から中山市長、会長の赤松さん、副会長の岩井さん、会計の片山さん

不審電話にご注意ください

10月15日、溝谷区内で防犯啓発活動が行われました。

今年に入り、弥栄町内で不審な電話が架かり、ATMまで誘導されたという事案が発生したこと、区長会や地域の防犯推進委員、消費者生活の皆さんが集まり、金融機関の前で防犯啓発のチラシを配りました。

チラシを受け取った方は「詐欺が起きていると知り、怖いと思った。自分自身もしっかりと気を付けていきたい」と話していました。

弥栄駐在所の藤原さんは、「電話で市役所、還付金、ATMという言葉が出たら、間違いない詐欺の電話ですから、不審な電話が架かってきた時は、近くの駐在所や京丹後警察署に相談してください」



啓発活動の様子



「京丹後市防犯の日」と定め、防犯パトロールなどの活動を行っています。



打ちたての蕎麦の味は格別



力を込めて生地をこねます

男の蕎麦打ち体験

10月20日、溝谷区公民館で蕎麦打ち体験会が行われました。

溝谷福祉委員会「ひまわりクラブ」では、「男の井戸端会議」と題し、男性だけのサロンを行っています。今回、区内の男性28人が集まり、クラブの皆さんに手作り蕎麦を振る舞いました。

参加者は、「今回初めて蕎麦を作った。食べるのは一瞬だが、作るには生地をこねたり切ったり湯がいたり、とても大変だということが分かった」と話していました。